

Misty Isle

墮
サキユバス
勇者と
の
宴

For Adult

18

成年向



かつて魔王を倒して王国を救い、国民から「勇者」と称えられた英雄の男女の間に一人の男の子が産まれた。彼は生まれた瞬間から両親の血筋と名声を引き継いだサラブレッドとして、未来の「勇者」となることを運命づけられた。「勇者」の両親の元で幼い頃から日々武芸百般・礼節や教養を徹底的に叩き込まれ、ひたすら厳しく育てられた。

そして若くして王家直属の近衛騎士団に所属し、国王主催の武術大会などで連戦連勝を重ね

「勇者」の子として相応しい実力と名声を身につけた彼は

成人して騎士団長となり両親が一線を退いたあとは国家的英雄としての「勇者」の地位も引き継ぎ魔王が倒された平和な世の中で日々各地を巡業し、国民の前に立ち喝采を浴び続けるのだった

「俺は…俺の人生は一体何なんだ…」

騎士団の同僚たちが話すような、子供の頃の親や友達との楽しい思い出なんて何も無い俺の記憶にあるのは我が子に対するものとは到底思えない暴力と服従の日々だけだ…

「勇者」なんて称号も、俺が望んだものでもなんでもなく親のお下がりです勝手に付いてきたシロモノだ。両親と国の都合で「勇者」とかいふメッキの飾りものをお仕着せさせられ自由も何もなく王家の威厳の象徴として見世物にされ、国民の前でへらへら笑うだけの毎日…」

俺は…こんな人生はもうたくさんだッ！

ある日忽然と「勇者」は国民の前から姿をくらませた

当然国王や両親、そして国民は大慌てとなり、国を挙げて大捜索が行われたが、ついぞ彼を発見することはできなかった

こうして国民の前から「勇者」が消えて一年、二年…

時は経ち、平和の中で国民から「勇者」の記憶も少しずつ薄れつつあった

そんな王国の辺境にある、山奥の名もなき小さな村の安宿の二階…

古い床がきしみ、薄汚れた調度品とポロいベッドだけが置かれた小さな部屋でとある男と淫魔の宴が、今夜も繰り広げられようとしていた――

…もう夜か

そーいや干し肉が切れたな
明日市場に買い出しに
行かねえと

…めんどくせえ

こんばんわ
勇者様

…メレ

親から譲られた
伝説の武器も
偉い連中からもらった
勲章やら宝飾品やらも
全部売っ払った

「勇者」の肩書きも名誉も
全部投げ出した逃亡者だ

だから俺はもう
「勇者」なんかじゃないと
何度言えは分かる



ま...た...り...か...
子供...た...に...
か...い...ら...た...か...
♡

お前は本当
相変わらずだな
...好きにしろ

ま...メレは
勝手に察(ま)せて
もらうけど ♡

は...

は...ま

ふふっ
そんなこと言って
今夜もメレのこと
待ってたくせに

それに
お前がいくら否定しても
お前の肉体に蓄えられた
強大な力は
間違いない
「勇者様」のそれ

はま...もう
たまはないわ ♡

か干が干のちのちから
匂い立ってくる
強大な精気だけで
もうイッちゃうぞ ♡

早速...
いたせませませ ♡





でも…本当ツいてたわ

すまじとて
上納する精気は
くすまたくらのこ
×××にひびい朝をうえて
このな命に飛ばした
サキユバスの女王には
さいばら腹も止ったけど

うあ…!!

ちゅっ

ちゅっ

ちゅっ

ちゅっ

ちゅっ

あはははは

あはははは

あ…!!

まやがそこにおなたの
ようは男がいたなんて

お…あ…!!
イク…出るぞ…!!

おちゅっ

この女…×××
サキユバス

言わずと知れた
人間の男を誘惑して
その精気を糧にする
低級悪魔だが

王都から遠く離れた
この村で隠遁生活を
送っている俺の正体を
唯一知っている存在だ

ちゅっ

あ…!!

あ…!!

あ…!!

ちゅっ

おちゅっ



ん…美味し

飲んだだけで
×の全身が魔力で
満たされていくわ…

ホント
極上の精液

毎日夜はお酒飲んで
サキユバスと
セックスして

風間は安宿の
汚いベッドで
寝てるだけの
墮落ぶりでも

オオがは元「勇者」様
…ごっこにかしら

俺が「勇者」だったら
その場でひねり殺してた

無駄口を
叩くな
半年前の満月の夜
精気が尽きかけて
死にかけのお前が
俺の前に現れた時

あの時暇つぶしに
精気をくれて
やったことを
感謝しろ…くっ

は

は

は

は

は

は

は

は

は

は

は

は

は

は

は

は

は

は

は

ふん...ふん...ふん...
この濃い精気...

サイコあ...
さすが
勇者様の精液

ふん...ふん...ふん...
ふん...ふん...ふん...

ホント...素敵

フワの人間が
毎晩サキュバスを
相手にしたら

一ヶ月も持たず
精気を吸い尽くされて
女の世逝きや...

ふん...

サキュバスごときが
俺の精気を
吸い尽くせると
思うなよ...ツツ...

しかも初めて
会った時から
毎晩してるのに
全然枯れないうと...

まさに勇者様の名に
ふさわしい無尽蔵な力...



いっせ
言っつてよん

女はたが
望むほら
×レはどんほ
えっちはお願いでも
かかえてあげる

く...メレツ
だつたらさつさと
母乳を出せ...
早く...俺に
乳を吸わせろ...ツ

だからちゃんこ
お願いするの...んっ

女はたが大好きほ
×レのお乳も吸わせて
女中はいんだから

頼みかたが
おるでしゅ

勇者様はなにせ
世間からすまほサ
ナれてきたから
その頼み方も
わからぬのかしら...

ほらほら

女はたが
腰のびくびく
止まらな
勇者様

早く素直に
ほらほら
狂っつてさっさと
×レの乳を
吸っつてよん

気持すいこ
おこ

くおおおお!!

おねがい...
×レのお乳を
しゃーしゃー
させ...

あーん
がっし牛乳
勇者様♥

ああ…メレ…
美味しいよ
メレの母乳…

必死に頑張って
メレのおっぱいに
おしこぶって
ホント可愛い…
赤ちゃんみたい…

はあママ!!

だから…頼むツ
今夜は
赤ん坊のように
俺を愛してくれ…!

「勇者」の肩書きが
笑っちゃまうような
欠陥人間だ…ツ

そうだ…俺は物心ついた頃から
将来の「勇者」にさせられるために
ひたすら厳しく躡けられて

世の中の連中が
当たり前を受けてきた
母の愛もろくに知らない

ふふっ
いいわ…

今夜のメレは
勇者様のママ…
そして勇者様は
メレの赤ちゃん♥

朝までたっぴー
おしゃべりしてる

自分に正直な
そんは勇者様が

俺は…この
小さなサキユバスに
さんざん手玉にとられて
やっとながついた

勇者様が
低級悪魔のサキユバスを
女神様呼ばわりだなんて

困民が知ったら
正々十総監するから

知ったことかっ

俺も
愛してる…ッ
だからもつと俺を
愛してくれ…
俺を甘やかして
身も心も溶かしてくれ…!

俺が「勇者」の地位を
なげうってまで
求めていたのは…

メレが与えてくれる
無限大の母性

おっし
これこゝろ

でも…そんなにメレに
×××××になつて
くれちゃうなんて

ママは…好牛

おん…も

…

ママ…!!

おんおん

おんおん

おんおん

おんおん

おんおん

おんおん

おんおん

おんおん

おんおん

おんおん

おんおん

おんおん

おんおん

おんおん

おんおん



うあ...あッ

あらあら...
またびゅっびゅして

ふふ
あれだけ何度も何度も
射精したのに

ホント元気
なんだから

ハア...あ...ッ
ごめん...ママ...

ママの指使いが
やさしくて...
気持ちよすぎて...

安心ほさい
いくら粗相をしても
ママは叱ったりしないわ

あなたが眠りに
落ちるまで

こりこりやなこへ
おすおすを
ほでほでこまてる

ママのおっぱい
好きほだけ
おしゃぶりしながら

このままママに
身を委ねて
眠りにつきたい...

うん...ママ...

はまま...あま...

きた...きたわ...!

今までに感じたことのない
ものすごいキカラが
私の体を満たしていく...

じぶん...

×レ:勇者様の
精気を吸って
また強く
なっちゃった

勇者様
×レは淫魔だから
人間の精液は
単なる「馳走」
あなたの赤ちゃんを
産むことはできないの

でも...
そのかわり

これから毎夜
あなたの女神に
ほってあげる...

あのサキュバスの
女王を殺すには
まだまだあなたの力が
必要だから...

×レがあなたの全てを
吸い尽くしてあげる

望みどおり
あなたの命が
尽きる日まで...

...じゃ
いい夢を見てお

甘えんぼで可愛い
×レだけの勇者様...

Fin.

あとがき

最後までお読みいただきありがとうございました。

今回の「母の愛情を満足に受けずに厳しく育てられ、葛藤の末に地位も名誉も投げ捨てて隠遁した”元”勇者」という主人公設定は、以前お仕事で挿絵をやらせていただいたとあるラノベからパクリ着想を得たものです。(そのラノベは個人的にとっても楽しく仕事させてもらったのに続編に至らず、心底無念な思いをしたのですが) なんだかオチも以前描いたロリヴァンパイア本と似通った感もあったりと、作風が狭いのは相変わらずだなあと反省ばかりが頭をよぎる次第ですが、ずっと前から一度は描いてみたかった念願のロリ巨乳サキュバス本を描くことができ個人的にはそれなりに満足しますので、読んだ方が少しでもこの勇者様のようにメレに甘やかされながら死ぬまで搾精されたい…などと思っていたのなら作者冥利に尽きます。

ここでちょっとしたお知らせといえますか、ご報告といえますか…ですが、諸々の事情からコミケへのサークル参加は今回をもちまして少しお休みさせていただくことにしました。ただ、同人活動自体をお休みするわけではなく、基本的には通販を中心にしたいと考えています。以前に少しラフ公開したオリジナル抱き枕カバーの新作も、できるだけ早く出したいです。また、即売会については、最近ほぼサークル参加することのなかった中小規模・オンリー系といった、肩の力を抜いて参加できそうなイベントなどに、機会があればサークル参加できればと思ってます。なので、引き続き同人作品は今後も不定期ながら発表していくつもりです。

コミケの場にもできればいずれ復帰したいと思ってますので、どうか引き続き変わらぬお付き合いをいただけますよう、お願い申し上げます。というわけで、とりあえず次回の冬コミには参加しません。

話は変わりますが、お仕事のお知らせ。

商業活動も以前よりだいぶペースが落ちてしまいましたが、基本的には自分が楽しく取り組める仕事をやりたい、ということで今は私自身が大好きなゲームでもある、DMMさんの「フラワーナイトガール」のお仕事を主にやらせてもらってます。今まではブラウザゲーム版のみでしたが、先日ようやく個人的にも待ち望んでいたスマホアプリ版が正式発表されて、そのキービジュアルイラストという大変責任の重い名誉あるお仕事を担当させていただきました。こちらも全力で楽しみながら頑張って描きましたので、これを書いている時点ではスマホ版は事前登録期間中ですが、ブラウザ版では遊んだことのない方もこれを機にぜひ一度遊んでみていただければ、イラスト担当としてもいちゲームファンとしてもとてもうれしく思います。ゲーム内のキャラ「花騎士」のイラストの方も何人か描いてますので、よろしくお願ひします。この本が出る頃には無事リリースされてるといいなあ。

というわけで、だらだらと長くなってしまいましたが、またいずれ何かの機会にお目にかかれることを祈りつつ…。それでは。

2018年8月
そりむらようじ

奥付

墮落勇者とサキュバスの宴

2018年8月12日発行
2021年4月10日電子版発行

発行サークル Misty Isle
発行責任者 そりむらようじ

Mail sorimura770@gmail.com
Blog <http://sorimuran.blog25.fc2.com/>
Twitter @sorimura

印刷 PICO

無断転載・複製・アップロード禁止
18歳未満閲覧禁止

本書によって発生したトラブルについて、作者は一切の責を負いません。



Original Fantasy Succubus Fanbook

Youji Sorimura Presents